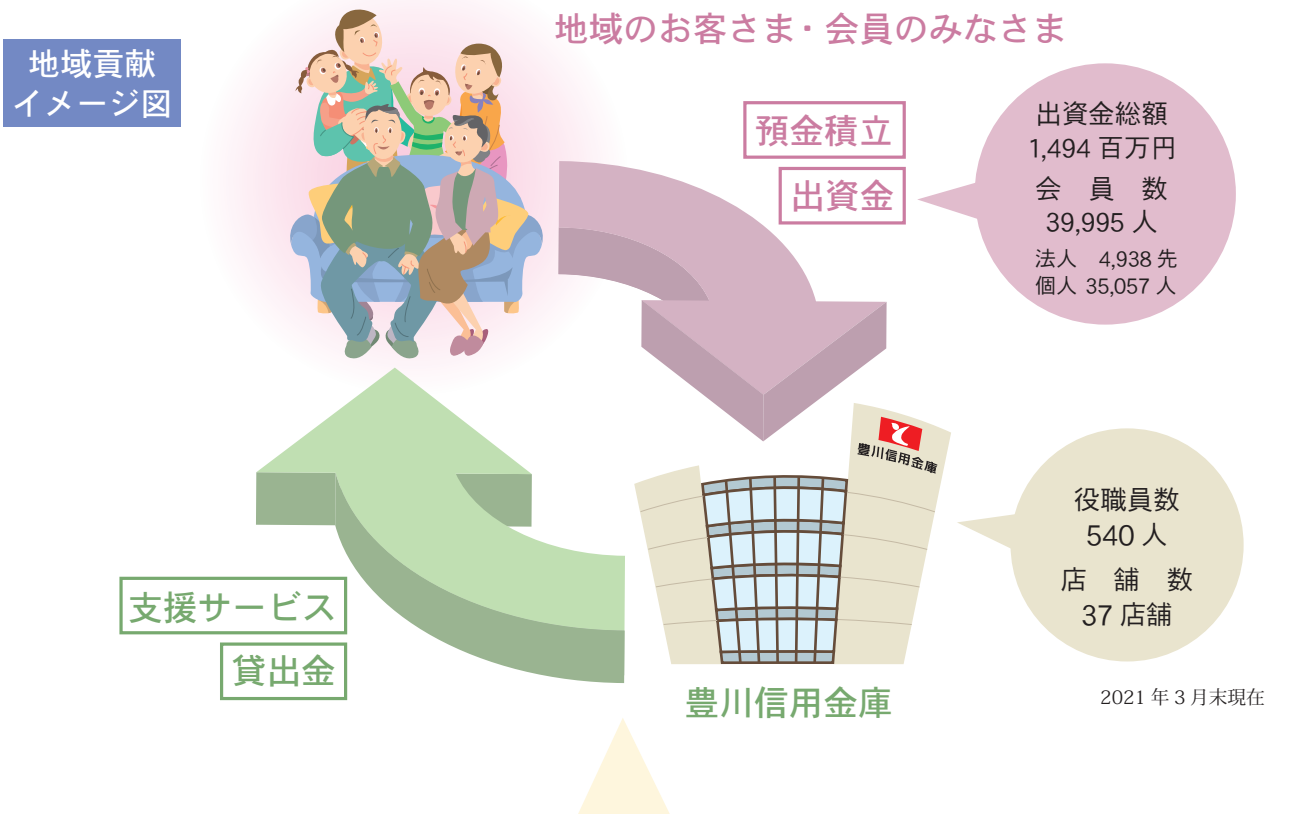


# 豊川信用金庫と地域社会

## 当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、東三河と岡崎地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客さまからお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化（環境、教育）といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。



## 文化的・社会的貢献に関する事項

- ①文化活動の実施
  - 各営業店ロビーにて絵画等の作品展を随時開催しています。
- ②環境への取組み
  - 全店禁煙運動を実施しています。
  - 年2回ごみゼロ運動に参加し店舗周辺の清掃活動を行っています。
  - 地球温暖化防止対策運動の「Fun to Share」に参加しています。
  - クールビズ・ウォームビズを実施しています。
- ③地域行事への参加
  - 地域のまつりや行事に参加しています。
- ④スポーツ振興への支援
  - 豊川シティマラソンに協賛しています。
  - 豊川市長旗争奪ゲートボール大会を後援しています。
  - 豊川市グラウンドゴルフ協会長杯争奪大会に協賛しています。
  - 豊川信用金庫理事長旗争奪剣道大会を開催しています。
- ⑤地域との関わり
  - 地域に根ざした金融機関である豊川信用金庫は、地元中小企業の発展と地域経済の活性化を支援することを目的として「かわしんビジネス交流会」を開催しています。
  - ※ 2020年度の豊川信用金庫主催の行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

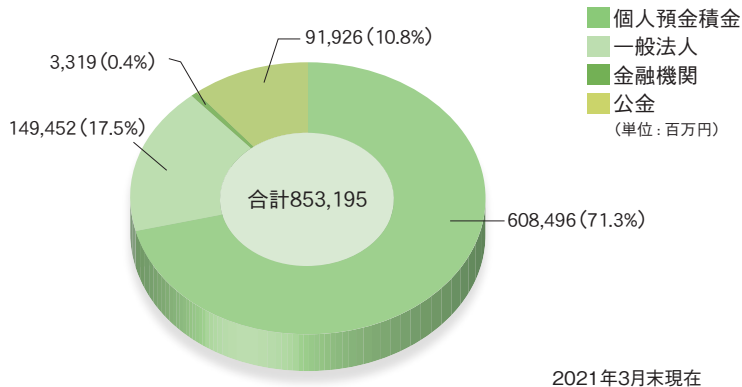
## 預金積金に関する事項 (地域からの資金調達状況)

2021年3月末の預金積金残高は8,531億円となりました。

これは、地域のみなさまに当金庫の健全性をご理解いただいた結果であると考えています。

当金庫では、地域のみなさまの豊かな暮らしと堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただくために、お客さま第一主義に徹し、お客さまのニーズにあった商品・各種サービスのご提供をさせていただくとともに、年金相談会や休日相談プラザ等を通じて年金相談や資産運用等のご相談にお応えしています。

### ■ 預金者別預金残高

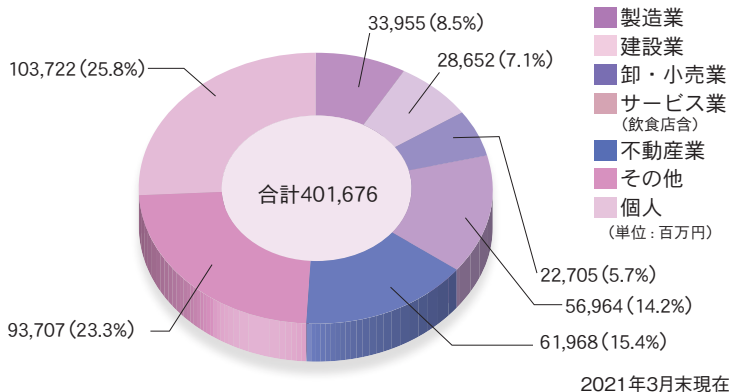


## 貸出金 (運用) に関する事項 (地域への資金供給状況)

2021年3月末の貸出金残高は4,016億円となりました。

お客さまからお預入れいただいた預金積金は、貸出金として地域経済の活性化に役立つ様々な資金ニーズに応え、中小企業・個人のお客さまにご融資しています。

### ■ 貸出金業種別内訳



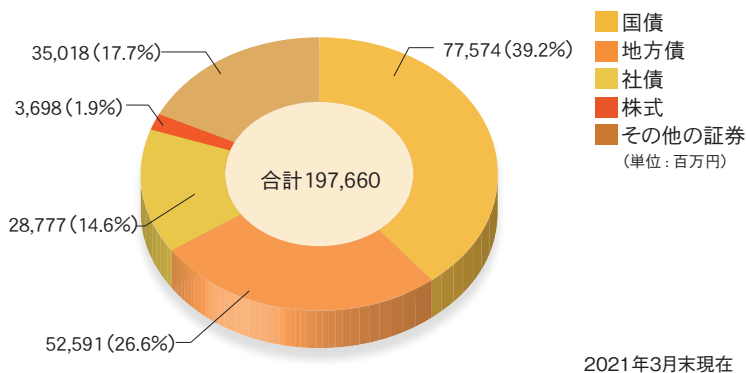
## 貸出金以外の運用に関する事項

貸出金以外の運用は主に有価証券で行っています。

有価証券運用は、債券を中心に行い、安定収益の確保に努めています。

有価証券以外のその他の運用は、信金中央金庫の預け金を中心とした運用を行っており、安全性を心がけています。

### ■ 有価証券残高



# 地域支援活動について

## 「地域密着型金融推進計画」について

当金庫は地域金融機関として、お客さまや地域経済の発展につながる「地域密着型金融」こそ、信用金庫の原点となる活動と認識しており、「円滑な地域金融仲介機能の発揮」を経営の重要課題と位置づけています。

2021年6月には、「2021～2022年度地域密着型金融推進計画」を策定・公表し、全役職員を挙げて取り組んでいます。ここで2020年度の取組結果をお知らせします。

### 2020年度の結果

#### ①顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

企業のライフステージ（創業・経営改善・事業再生・事業承継等）に応じた、きめ細かい支援を行いました。

創業や新事業開拓に取り組もうとするお客さまに対して、事業計画の策定支援や新商品開発、販路拡大等についてのアドバイスを実施しました。

経営改善支援活動においては、営業店と本部が一体となった支援を実施した結果、7先の債務者区分がランクアップしました。

また、様々な経営課題を抱える取引先企業に対してよろず支援拠点など公的支援機関と連携して経営課題の分析と改善に向けた支援を行いました。

事業承継支援においては、あいち事業承継ネットワークを活用し、承継についてのアドバイスや承継計画の策定支援を行いました。

#### ②地域の面的再生への積極的な参画

2021年2月20日（土）に、東三河、静岡県遠州、長野県南信州の各地域に本店を置く8信用金庫（飯田・アルプス中央・浜松いわた・島田掛川・遠州・豊橋・蒲郡・豊川）による「第13回三遠南信（8信金）しんきんサミット」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、東三河、静岡県遠州、長野県南信州の各地域の3会場をオンラインで結び、基調講演やパネルディスカッションをYouTubeでライブ配信しました。また、リアルの物産展でなく、オンラインによる物産展は5月31日まで開催され、当金庫からは10社参加されました。

#### ③地域や利用者に対する積極的な情報発信

2021年3月に「お客さまの満足度調査」を実施しました。お客さまに満足していただける「かわしん」を目指し、貴重なご意見・ご要望を今後の営業活動に活かします。

東三河地区の企業の景気動向についてアンケート調査を行い、年4回「かわしんレポート『ふれあい』」を発行しました。

## 地域企業に対する経営支援の取組み

### 【経営改善支援の取組実績（2020年4月～2021年3月）】

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組先a	aのうち期末に 債務者区分が ランクアップした 先数β	aのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった先γ	aのうち 再生計画を 策定した先数δ	経営改善支援 取組み率 =a/A	ランクアップ率 =β/a	再生計画策定率 =δ/a	
正 常 先①	2,317	0		0	0	0.0%		0.0%	
注 意 先	うちその他 要注意先②	1,207	81	3	67	53	6.7%	3.7%	65.4%
	うち要管理先③	10	7	1	4	5	70.0%	14.3%	71.4%
破綻懸念先④	174	134	3	115	79	77.0%	2.2%	59.0%	
実質破綻先⑤	57	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
破 綻 先⑥	11	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
小計 (②～⑥の計)	1,459	222	7	186	137	15.2%	3.2%	61.7%	
合 計	3,776	222	7	186	137	5.9%	3.2%	61.7%	

・創業支援・新事業支援融資は11先の110万円です。

・個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資は12件の59万円です。

# 中小企業の経営改善の取組状況

## 取組方針

地域密着型金融の推進のもと、お取引先企業の経営課題の解決を支援しています。

創業・経営改善・事業承継などの「ライフサイクルに応じた取引先企業への経営支援」を強化するために、お客さま企業の個々の状況に合わせたコンサルティング活動を行っています。

また、外部専門家との連携により、複雑化する様々な経営課題解決のお手伝いをしています。

## 態勢整備の状況

### ● 支援体制について

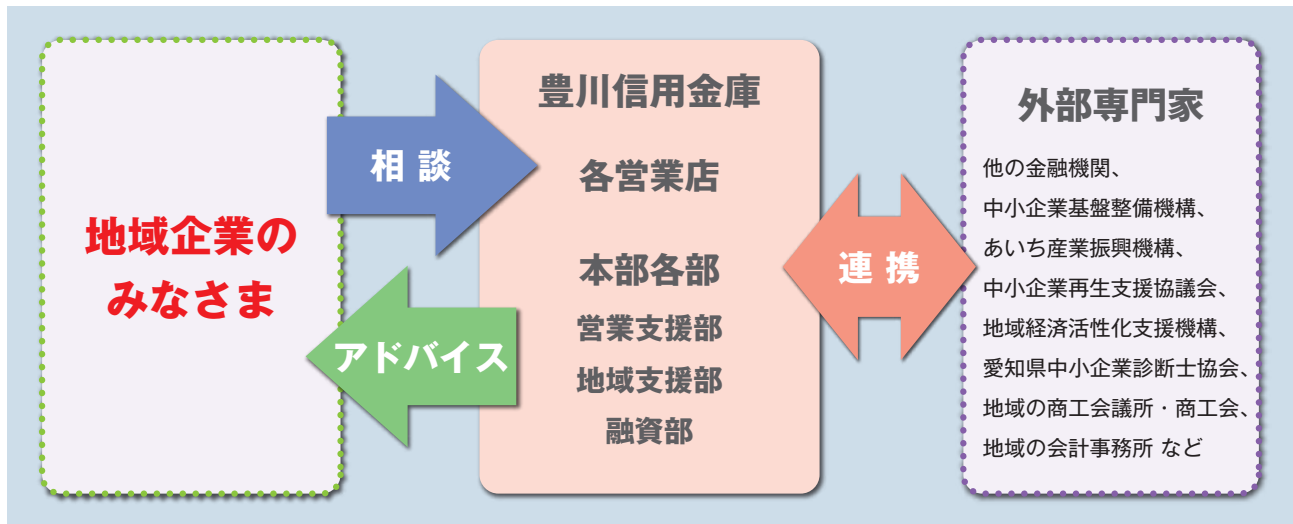
専任部署として地域支援部に地域支援課を設置し、企業のライフサイクルに応じた経営支援活動を行っています。経営改善支援先を選定し、営業店・本部が一体となった顧客企業の経営改善に取り組んでいます。

公的資格試験等合格者数（2021年4月1日時点）

中小企業診断士	7名
社会保険労務士	3名
1級ファイナンシャルプランニング技能士	8名

### ● 外部専門家との連携

外部専門家や外部機関と連携してお客さま企業の経営改善に取り組んでいます。



## 経営支援の状況

### ● 創業の支援

- サービス業、飲食業、小売業、建設業の創業支援を実施
- 豊川市・豊川商工会議所と連携して創業塾の開催

### ● 成長段階における支援

- 「かわしん Big Advance」による販路拡大支援を実施
- 生産性向上をめざして革新的な取組みにチャレンジする企業に、各種補助金を活用した支援を実施

### ● 経営改善支援

- 経営改善計画の策定支援
  - 自社分析から戦略策定、課題解決策の抽出、改善のための行動プランの策定までを行い、経営改善に役立てています。
- 外部機関との連携
  - 企業が抱える様々な経営課題に対して、外部の専門家を派遣し、課題解決支援を行いました。
- 各種セミナーの開催
  - 2021年3月19日（金）にオンライン説明会「事業再構築補助金（中小企業等事業再構築促進事業）」を開催しました。先着100名を募集しましたが、Zoomを使ったWebライブ配信のため、実際には118名の方が受講されました。



## 地域との関係

2020 / 6.5

### 抗菌マスクケースを近隣市町村の小中学生に贈呈

新型コロナウイルス感染リスク軽減の一助となるよう、取替え用マスクや一時的に外したマスクを衛生的に保管できる抗菌マスクケース2万2千枚を豊川市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村の小中学校の児童・生徒及び教職員に寄贈しました。



2020 / 5~6

### 新型コロナウイルス影響に関する相談会を開催

豊川商工会議所、愛知県労働局と連携し開催しました。当金庫は地元の中小企業・小規模事業者のみなさまの資金繰りや融資・補助金等の相談を担当しました。



2020 / 7.8

### 豊橋商業高等学校で「かわしん高校生金融教室」を開催

豊橋商業高等学校の3年生17名に「東三河の地域の魅力とがんばる中小企業」をテーマに講話を行いました。金融教室では、東三河の環境や経済面の魅力をはじめ、コロナ禍における全国の景気動向や東三河の状況、地元で活躍する中小企業の魅力について説明しました。



2020 8.17

## 田原市と空き家対策事業に関する 連携・協力の覚書を締結

全国的に顕著化している空き家問題に自治体と協力して取り組むため、豊川市、東栄町、設楽町、豊根村に続き、新たに田原市と業務連携・協力に関する覚書を締結しました。



2020 11.18 ~ 12.30

## 一宮支店開設50周年記念事業を実施

一宮支店開設 50 周年を迎えるにあたり、日頃の感謝とコロナ禍の影響を受けている地元飲食店を応援するため、一宮商工会と共同して飲食券が当たる抽選会を実施しました。



2020 11.12

## 剣道用マスクとマスクケースを贈呈

毎年 12 月に開催している「豊川信用金庫理事長旗争奪剣道大会」が新型コロナウイルスの影響で中止となったため、東三河剣道連盟、豊川市剣道連盟を通して東三河の剣士や関係者など、合わせて 740 名に剣道用のマスクとマスクケースを贈呈しました。



# 地域金融円滑化のための取組み

「金融円滑化対応」は、当金庫の重要課題として位置づけ、適切な対応を行っています。  
詳細については当金庫のホームページ (<https://www.kawa-shin.co.jp/>) で公表しています。

## 金融円滑化の取組みに向けた態勢整備

- ・「地域金融円滑化のための基本方針」を定め、地域金融の円滑化に取り組んでいます。

## 金融円滑化に関する苦情・相談窓口の設置

- ・全営業店と本部に、「金融円滑化に関する苦情・相談窓口」を設置しています。  
本部窓口 経営企画部法務課 0120-89-2471(フリーダイヤル)
- ・平日、ご来店等が難しいお客さまのために、休日相談窓口を設置しています。  
かわしん休日相談プラザ(本店営業部)(原則土曜日・日曜日 午前10時より午後5時まで開催)  
豊川市末広通3丁目34番地1

## 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2020年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は280件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は6.5%、保証契約を解除した件数は27件、当金庫をメイン金融機関として成立に至った保証債務整理の申し出はありませんでした。

## 金融仲介機能のベンチマークに関する開示

「金融仲介機能のベンチマーク」とは、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標です。この指標を用いて、自身の取組みの進捗状況や課題等について認識し、金融仲介の質を一層高めることを目的としています。当金庫では、「円滑な地域金融仲介機能の発揮」を経営の重要課題として、地域への積極的な資金供給に努めています。

### 共通ベンチマーク

#### 1. 取引先企業の経営改善や成長力の強化

メインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数および同先に対する融資額の推移

	2021年3月末		2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末
メイン先数	3,437先	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	990億円	987億円	1,051億円
メイン先の融資額	1,708億円				
経営指標等が改善した先数	1,479先				

#### 2. 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

(1) 貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	197先	2先	40先	155先

(2) 関与した創業、第二創業の件数

関与した創業件数	7件	関与した第二創業件数	0件
----------	----	------------	----

(3) ライフステージ別の与信先数および融資額

	対象先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	4,553先	191先	293先	3,619先	175先	275先
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	2,393億円	70億円	260億円	1,815億円	81億円	165億円

#### 3. 担保・保証依存の融資姿勢からの転換

事業性評価に基づく融資<sup>(※)</sup>を行っている与信先数・融資額および全与信先数・融資額に占める割合（先数単体ベース）

	先数	融資残高		先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数および融資残高	8先	2億円	左記計数の全与信先数および当該与信先の融資残高に占める割合	0.2%	0.1%

※「事業性評価に基づく融資」の定義

企業との十分な対話により、その事業内容や成長可能性も含めた事業性を理解することを「事業性評価」と定義し、「事業性評価」に基づき把握した企業の課題解決のために、適切なソリューション提案を行い、そこから生まれた資金需要に対し、企業の信用力に見合った金利で実行した融資を「事業性評価に基づく融資」と定義し、その定義に基づき、今期中に実行した与信先数、残高実績を記載しています。



# ご意見・ご要望の取組み状況

## お客様の満足度調査

お客さまからご意見を頂戴し、お客さまに満足していただける“かわしん”をめざすため、「お客様の満足度調査」を実施しました。

お客さまからお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望を、今後の業務活動に活かし、役職員一同これまで以上にみなさまにご満足いただける“かわしん”をめざします。

### ■調査方法

#### 1. アンケート調査要領

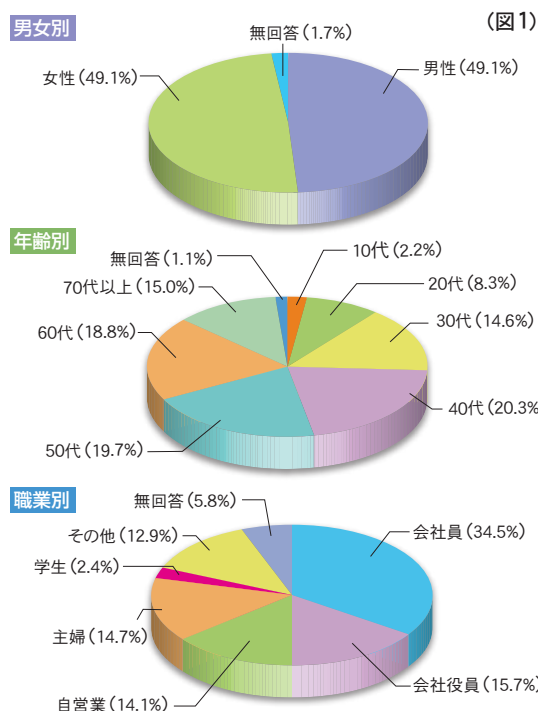
アンケート調査をお客さまにご依頼し、店頭に設置した「アンケート箱」に投函をお願いしました。

2. 調査期間 2021年3月1日～3月12日

### ■調査結果

1. お客さま回答総数 918名

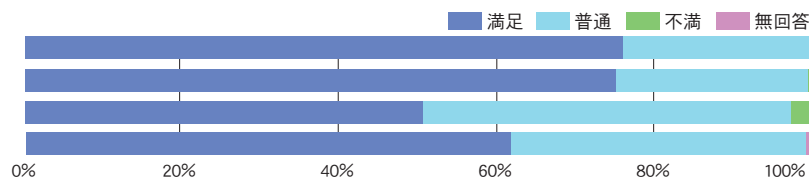
2. お客さまの内訳 (図1)



### ■アンケート調査回答結果

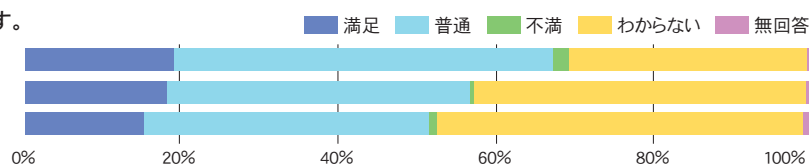
#### 1. 職員の対応等についてお伺いいたします。

- ① 職員の挨拶
- ② 職員の態度・言葉づかい
- ③ 窓口での待ち時間
- ④ 相談、質問等への対応

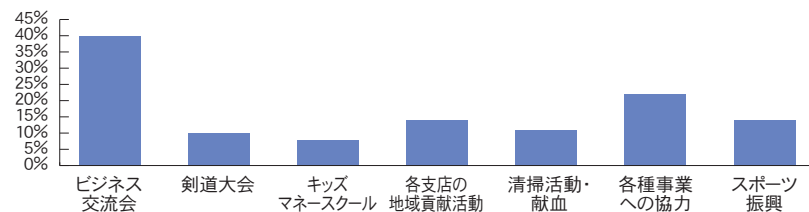


#### 2. 商品の品揃え等についてお伺いいたします。

- ① 預金商品の品揃え
- ② 融資商品の品揃え
- ③ 保険・投資信託関連商品の品揃え



#### 3. 当金庫が行っている地域貢献活動の中で、ご存じのものについてお伺いいたします。



#### 4. ご意見、ご要望等について(抜粋)

- ・キッズマネースクールのような子供たちが参加できるイベントがもっとあるといいと思います。(40代男性 会社役員)
- ・高齢者のサークル等を行ってほしい。(70代女性 主婦)
- ・支店によって対応や考え方に相違があると思います。対応等統一するよう改善をお願いします。(20代女性 会社員)
- ・いつも相談にのってくれて感謝しています。(70代女性 会社役員)
- ・相続の際に大変よくやっていただいた。(60代男性)